

# 防災協だより (121号)

【発行所】(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会  
横浜市中区北仲通4-40(商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454  
【編集責任者】企画部会長 鈴木 常夫  
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

## 防災事業所経営者講習(説明会)の開催



布施会長 開会あいさつ

防災体制整備委員会では、防災事業所が応援助言体制を確立し出動する上での問題点等を把握するため、県委託事業として一昨年のアンケート調査、更には、昨年にはヒヤリング調査を行ったが、その結果のひとつとして『経営者側の防災事業所又は高圧ガス防災協議会組織に対する理解度が薄い』、『応援助言活動を行ううえで、経営者側の理解が得られないと、活動し難い』等々の意見が数多く散見され、協議会発足から40年余が過ぎたこともあり、経営陣における継承も尠ならないことから、県のご協力を頂き「防災事業所経営者説明会」を以下の要領で開催した。

日 時：平成28年9月6日(火) 10時～12時  
場 所：神奈川県民センター 2階ホール

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 防災協議会と防災事業所体制の経緯と構築について
  - (2) 防災協議会の事業概要
  - (3) 防災事業所と準防災事業所の現在の問題点と改善点について
  - (4) 意見交換
- 3 閉会



説明する穂積工業保安課長



会場風景

# 平成28年度事業中間報告

## 1 平成28年度 県・警察・消防・防災事業所連絡会議

例年、各地域における防災事業所と関係機関との連携強化及び情報の共有化を目的に情報交換を行っているが、本年度は連絡会議の前に、各地域の消防本部又は消防局に対し、高圧ガス漏洩事故が発生した場合の初動体制並びに防災事業所への指示命令の内容等についてご意見を会議席上でいただき、後に参加者における意見交換を行うことにした。

地区名	開催日	会場名	出席者数				
			防災事業所	県	警察	消防	合計
県央	6月8日(水)	サンエールさがみはら	11	3	9	13	36
川崎	6月14日(火)	かわさき保育会館	9	3	8	7	27
横三	6月17日(金)	横須賀市文化会館	7	1	7	11	26
湘南	6月22日(水)	平塚市民センター	7	1	8	10	26
県西	6月24日(金)	小田原市民会館	8	1	4	3	16
横浜	7月4日(月)	神奈川県民活動サポートセンター	13	4	18	16	51
合計			55(59)	13(11)	54(53)	60(53)	182(180)

( )内数字は昨年度実績

## 2 平成28年度 高圧ガス運送基準指導及び運送指導員資格取得更新講習会

高圧ガスの運送時における事故の未然防止に向けた事業として、各種講習会に取り組んでいます。とりわけ、『高圧ガス運送基準指導講習』は、県が定める運送基準を基に構成されており、県後援の下、県内計7会場において開催されています。

開催日	会場名	講習種類	受講者数(人)			
			更新者受講者	新規受講者	合計	前年度
7月14日	かわさき保育会館	運送員	—	—	195	211
8月4日	横須賀市文化会館	運送員	—	—	123	122
		指導員	99	30	129	149
8月10日	小田原市民会館	運送員	—	—	154	168
8月31日	茅ヶ崎市民文化会館	運送員	—	—	236	202
		指導員	174	48	222	181
9月8日	鶴見会館	運送員	—	—	257	213
		指導員	249	54	303	164
11月9日	厚木市文化会館	—	—	—	679	
12月8日	神奈川公会堂	—	—	—	232	

## 会員事業所紹介

# 横浜ケミカル株式会社

弊社は、昭和23年11月にアセチレンガスの製造・販売を目的に創立し、翌年10月に工場が完成し事業を開始しました。当初の所在地は横浜市鶴見区市場町で社名も横浜アセチレン株式会社でした。その後、昭和31年横浜市への要請により、現在地の鶴見区元宮に本社工場として移転し、アセチレンの増産態勢を図るとともに容器検査所を設置しました。

昭和38年に酸素工場増設を皮切りに、アルゴン、液化エチレン（現在はフルオロカーボン製造施設）、炭酸ガスと順次に製造品の拡大を図り同47年5月に社名も現在の横浜ケミカル株式会社に変更しました。更に同52年に窒素、59年にはフルオロカーボンの工場を増設し、これで6つの充填工場と容器検査所の全7工場を構えることになりました。一方、営業として現在は本社を基盤に、鹿島（茨城）、福島（福島県）、柏崎（新潟県）の3か所の営業で各種ガスの関連商品をはじめとする販売業務を行っています。なお、福島営業所は5年前の東日本大震災で被災し、加えて東京電力福島第一原発事故による立ち入り禁止地域に指定され、一時期営業活動が中断しました。協力会社の支援もあり、いわき市に仮事務所を設置して業務を再開しておりましたが、本年1月に同市に新社屋が完成し本格的に営業活動が再開できました。協力会社をはじめ関係者の皆様には深く感謝を申し上げます。

さて、弊社の従業員は現在、営業所を含めて（50名パートを除く）、うち39名が本社勤務です。本社敷地面積は11,729m<sup>2</sup>（おおよそ3,600坪弱）を有しています。平

成9年2月生産コスト高から主力製品であるアセチレン製造から撤退しましたが工場のリニューアルを計画しました。同15年4月に容器検査所を増設し高圧ガス容器全自動検査設備を導入しました。作業効率と製品のグレードアップを図りました。同20年4月には敷地内に4つのガス製造施設（酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス）をワンフロアに集約したパニエ方式による充填工場の横浜ガスサービスセンター株式会社を設立しました。弊社の特色としては、一般高圧ガスの容器再検査では単瓶から集結容器（トレーラー、ローダー、カードル）まで幅広く実施しています。特に集結容器等では、解体→容器再検査→組立てと一貫した作業が可能です。

リニューアルは第2期を終え第3期の最終に入ろうとしています。完成された暁は如何になりますか。社員は3H（保安：Hoan、保健：Hoken、発想Hassouの転換）を社是とし、自主保安活動方針を尊重しつつ日々活動しています。弊社は総合ガスセンターとして地域にし、ユーザー様により良い製品を安定供給することともに安全・安心をご提案でできることを目標に邁進して行きます。

今後とも弊社をどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 東横化学株式会社（本社、相模原事業所、大和営業所）

当社は、1952年（昭和27年）に川崎市木月で産声を上げ、今年6月より創立65年目をスタート致しました。現在、社員400名、全国で18拠点、海外で5カ国に拠点を構えており、神奈川県内では、本社（川崎）、相模原、大和の3箇所を拠点とし、高圧ガスの製造・貯蔵・移動・販売を行っています。県内の高圧ガス製造（N<sub>2</sub>、O<sub>2</sub>、Ar、CO<sub>2</sub>、LPG）については数年前より相模原に集約致しました。

防災協議会におきましては、特殊材料ガス（全県下）、アンモニア（川崎地区）の防災事業所に指定いただき、県下6地区で行われるミニ防災出動訓練（川崎地区）へ積極参加し、時には、事故容器回収のため容器収納筒・緊急工



具・空気呼吸器などを携行して緊急出動するなど県内の防災活動に取り組んでおります。また、防災協議会の皆様には運送員講習・指導員講習など大変お世話になっております。

当社は、「ガストロニクス」によ

る技術革新をすすめ安全と新たな価値を創造し豊かな社会造りに貢献する、という経営理念のもと技術革新を進め、安全第一として、お客様と社会に新たな価値を提供すべく活動しております。具体的には、TGM（トータルガスマネジメント）をコンセプトとし、入口から出口まで、事前の構想コンサルティング・ランニング時の運転保守管理そして排ガス処理までのサービスをお客様に総合的にご提供する為、主に各種高圧ガス・薬液、装置（供給、プロセス、検査、除害他）、配管工事、関連機器類の販売、運営管理サービスを販売しております。また、高度な技術を維持・模索する為に研究開発部門の拡充に努めると共に、本社クリーンルームでの装置製作・組み立て等を行い、高度な品質と安全並びにサービスを更に進化させるべく活動しております。

同時に、CSRを重視し、行動指針を定め、ステークホルダーからの信頼を高めることで社会的責任を果たしております。その中でも、ISO9001に基づく品質管理、ISO14001での環境保全活動を推し進め、管類での内国認定試験者として大臣認定を取得し、品質管理とサービスの向上に役立てております。

今後とも協議会会員各社様、防災協議会様、工業保安課様には、倍旧のご支援・ご指導を頂けますよう当社も防災事業に積極的に取り組んで参ります。

（※「ガストロニクス」とは、当社事業の柱であるガスとエレクトロニクスを合体した語）

## 会員事業所紹介

# 株式会社エネックス 関東LNG支店

当社は、日本石油輸送グループの一員として昭和39年4月に日本石油輸送株式会社から関東石油輸送株式会社として独立分離し、関東地区における石油製品、高圧ガス類の自動車輸送と油槽所業務を引き継ぎました。その後、平成10年7月に関東石油輸送株式会社を存続会社とし、関西石油輸送株式会社、東北石油輸送株式会社、札幌石油輸送株式会社の3社を解散会社とする合併を行い、株式会社エ



ネックスを設立いたしました。また、平成17年7月に株式会社エネックスを存続会社とし、コールド・ガス・キャリア株式会社並びに株式会社極液の2社を解散会社とする合併を行いました。根岸営業所はコールド・ガス・キャリアから、

袖ヶ浦営業所は極液からそれぞれ引き継いだ営業所となります。

当関東LNG支店は、LNGを主とした高圧ガス類の自動車輸送を行っており、根岸営業所（神奈川県）、袖ヶ浦営業所（千葉県）および茨城営業所（茨城県）の3拠点を統括しております。当社7支店、車両総台数約700台、社員約1,000名のうち、関東LNG支店全体の車両台数は、社内最大規模の約140台、社員約200名であり、「安心・安全・信頼」をモットーにLNG輸送基地から、お客様のサテライト基地を結ぶ輸送を行っております。

常に安全な輸送を行えるよう、LNG輸送に関わる社員に対して、1人ひとりに徹底した安全教育訓練を行っております。LNGの物性から始まり、専用の教育訓練施設を用いたのタンクローリーの構造や操作方法の実習、事故発生時の初動対応などを徹底的に教育。これらの教育訓練は、レベルや経験に応じて繰り返し行います。また、車両やタンクのメンテナンスについても、JOTグループにて徹底して行うなど、万全の安全体制を確立しております。

「安全を仕事の中心に～SAFETY 1st～」を基本理念とし、クリーンエネルギーとして、今後さらなるニーズが見込まれるLNGの輸送のエキスパートである自負をもち、安全・確実な供給に尽力していきます。

## 株式会社 サナミ商会

株式会社サナミ商会は、横浜市神奈川区にある高圧ガスの販売会社です。創業は1922年 横浜市西区高島にて海軍の造船所（後の三菱重工業横浜造船所 みなとみらい21地区）向けにフランスから長尺の高圧ガス容器を輸入販売する事がきっかけでした。潜水艦にでも使われていたのでしょうか。

創業者の名前は、漢字で書くと「佐波」ですが、読み仮名は「サバ」です。社名は設立当初から苗字を読み替えて「サナミ商会」と大正時代には少ないカタカナの入った社名でした。一説には、フランスからの輸入時に苗字の「サバー」では、フランス語の挨拶に聞き間違えられるので「サナミ」と読み替えたとも言われています。私にもはっきり分かりません。

昭和21年に現在の神奈川区に移転。昭和34年に横浜市瀬谷区にて相模アセチレン株式会社を設立。現在では、溶解アセチレン・酸素・窒素・アルゴン・炭酸・混合ガスの充填工場と容器再検査所が稼働しています。

昭和35年にプロパンガス充填工場を横浜市瀬谷区に設置。オートスタンドも併設していましたが、国道の拡幅の為、昭和7年に閉鎖。昭和47年に横須賀市にて酸素・窒素の充填工場（久里浜工場）を設置。当初は三崎の冷凍マグロ輸送用トラック向けに液化窒素を直接チャージしていました。

プロパン充填工場に隣接して、昭和46年に炭酸ガス充填工場、昭和51年にフロンガス充填工場を設置。（現在は、フロンの充填をしておりません。）

高圧ガス事業とは別に変わり種といたしましては、小笠原

沖で捕鯨をしていた時代に冷凍船を6隻所有し、船舶事業を20年ほど行っていました。また、中国貿易は国交が回復する以前（50年ほど前）より行っていて、横浜中華街に美術品、食材、宝飾品、家具などを販売しておりました。伊勢丹でも催事を毎年60日ほど開催していました。現在は、カルシウムカーバイド（アセチレンガスの原材料）を中国から直接輸入しております。

弊社のスタートは、高圧ガスの直売でしたが、社内で製造を行う事により、保安教育が充実し、販売社員の技術向上に寄与してきたと考えます。安全知識を「一味違うセールスポイント」としてお客様に提供しております。

今後も会員皆様と協力して、高圧ガスの安全利用（輸送・製造・消費）を向上させて参る所存です。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## 平成28年度神奈川県工業保安功労者 安全防災局長表彰式の開催

7月11日（月）11時より、開港記念会館2階9号室において平成28年度神奈川県工業保安功労者安全防災局長表彰式が行われ、和田安全防災局長より表彰状並びに記念品が授与されました。神奈川県高圧ガス防災協議会からは、鳥飼隆昭氏（JXエネルギー(株)根岸製油所）が神奈川県運送基準指導講習会の講師を始め、高圧ガス地震防災緊急措置訓練へのスタッフ協力等が評価され受賞されました。



工業保安功労者 鳥飼隆昭氏、局長表彰受賞の皆さん

## 平成28年度（第31回）関東高圧ガス保安大会の開催

7月29日（金）、ホテルアジュール竹芝（東京都港区竹芝）において平成28年度（第31回）関東高圧ガス保安大会が開催されました。大会では関東東北産業保安監督部長表彰、関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰式が執り行われましたが、当協議会会員事業所の受賞は、残念ながら該当者が居りませんでした。

保安大会終了後の記念講演では、「Hondaにおける燃料電池自動車開発と水素社会に向けて」と題し、(株)本田技術研究所 上席研究員 守谷隆史氏の講演があり、水素社会の幕開けをも予感させる講義でありました。



大会挨拶（関東高圧ガス保安団体連合会 深尾会長）

## ～事務局からのお知らせ～

### 平成28年度（第44回）高圧ガス地震防災緊急措置訓練の開催について

高圧ガス地震防災緊急措置訓練を、下記のとおり実施いたします。

開催日時及び開催場所

日 時 平成28年10月5日午後1時から4時まで

会 場 川崎市麻生水処理センター（川崎市麻生区上麻生6-15-1）  
（会場で受付を行います。見学のための申し込みは有りません。）

訓練実施内容

高圧ガス燃焼特性紹介、高圧ガス基本措置訓練、高圧ガス緊急措置訓練  
（防災協議会は基本措置訓練：空気呼吸装着訓練、緊急措置訓練：移動途上緊急措置訓練に参加します。）

### 平成28年度高圧ガス火薬類保安大会の開催について

別紙ご案内のとおり、「平成28年度高圧ガス火薬類保安大会」を開催します。  
申し込み用紙に必要事項を記入の上、提出期限までに事務局宛お送りください。

### 県外研修見学会の開催

部会における県外研修見学会を下記のとおり実施いたします。なお、詳しくは9月末に発行する案内書または『防災協議会ホームページ』及び事務局にご確認ください。

《訓練日時及開催場所》

日 時：平成28年10月25日（火）12時20分～15時10分

会 場：吉見総合運動公園（埼玉県比企郡吉見町今泉141番）

### 平成28年度高圧ガス移動監視者講習検定開催日程

講習及び検定日程	講習・検定会場	定員
・講習 平成28年24日（木）、25日（金） （9時30分～17時30分） ・検定 平成28年12月2日（金） （10時00分～11時30分）	波止場会館 5階多目的ホール 横浜市中区海岸通1丁目1番	80名
・講習 平成29年1月25日（水）、26日（木） （9時30分～17時30分） ・検定 平成29年2月2日（金） （10時00分～11時30分）	かわさき保育会館 川崎市川崎区渡田新町3-2-8	